



## Show Rotary Cares ロータリーの心を

あなたの住むところ  
私たちの世界  
そこに住むすべての人々に



Rotary International

1997-98 R.I. Theme

第2560地区  
ガバナー——久保田 昭 治  
会 長——五十嵐 総 一  
会長エレクト——細 井 増 雄  
副 会 長——長谷川 有 美  
幹 事——佐 野 勝 栄  
副 幹 事——西 山 徳 厚  
S A A——山 浦 日出夫  
副 S A A——高 森 章 仁

例 会 日——毎週水曜日 12:30～  
例会場及び——三条市旭町2-5-10  
事 務 局——三条信用金庫本店内  
例 会 場——TEL 35-3311  
事 務 局——TEL 35-3477  
FAX 32-7095

本日出席会員数	79名中 50名
先々週出席率	84%

### ヴィジター

三条南より 大竹光男さん  
見附より 坂田亮一さん

### ゲ ス ト

建設省長岡国道工事事務所  
三条国道所長 和田日朗殿

### 先週のメイクアップ

11/16 ローターアクト地区大会へ  
佐藤吉平さん、丸山行彦さん、  
小柳直人さん  
11/17 三条南へ  
渡辺宏策さん、近藤雄介さん、  
長谷川有美さん、細井増雄さん  
11/18 三条北へ  
榎本 勝さん、捧 賢一さん

# 会長挨拶

## 五十嵐総一会長

見附クラブより坂田さん、三条南クラブより大竹さん、ようこそおいでいただきました。ごゆっくりしていただきたいと思ひます。

先週は3クラブ合同例会ということで、シャンソン歌手の奥田晶子さんをお招きし「シャンソンとワインの夕べ」を親睦委員会の企画でさせていただきました。

ディナーショー的な形式でやらさせていただきましたが、いかがでしたでしょうか。

ディナーショーというのは非常に私も慣れていないせいか、楽しい雰囲気もあるんですが、形式的な部分もあります。

3クラブ合同の親睦になったのかどうか、いろいろ批評はあると思ひますが、だいぶ以前から打合せ等があったようで、大変ありがとうございました。

11月はロータリー月間ということで、財団の使命というものは、国際ロータリーが世界会議をし、そして世界の平和を達成するために努力を支援するもの、ということをご皆さん方も理解していただいていると思ひます。

その重要な11月の月間ということでございますが、ただ先日のエジプトの事件ですが、あのようになられた事件がありますと、平和というものはなんぞや、ということをご悲しく感じ報道を聞いておりました。

たまたま私、昨日まで大阪におりまして、訪問したその会社の方が新婚旅行でその災難にあわれて亡くなられたということで、ちょうど私がいた時の事で、その会社の方々が大変な騒ぎをされておられました。

本日は卓話をいただく環境問題ということで、これも平和に繋がる問題でございます。

建設省の和田さんから、じっくりとスライドをいれてお話を楽しみに聞かせていただきます。

和田さん、どうもありがとうございます。よろしくお願ひいたします。

# 幹事報告

## 佐野勝栄幹事

◎日本サービス・センターより

ロータリー適用相場変更のお知らせがとどいております。

12月1日より

1ドル126円(現行117円)

◎いからしの里より

サンタクロース派遣依頼がとどいております。

とき 12月17日(水)

PM1:15~2:45

ところ いからしの里 デイルーム

# ニコニコBOX



五十嵐総一さん

先週は3クラブ合同例会で多数の方々からご出席頂き主幹事の役割を無事終了、親睦委員の皆様大変ありがとうございました。

古澤富雄さん

社会保険委員会会長を永く勤めたお陰で、先般厚生大臣の表彰状をいただきました。

五十嵐 力さん

11月9日から16日まで8日間三条市貿易振興会の視察に中国各地を廻って来ました。したたかな、中国人を見て来ました。

船越正夫さん

和田さんの卓話楽しみにしております。

平原信行さん

久しぶりのホームクラブ出席です。お休みして申しわけございません。

橘 直樹さん

先週出張で欠席いたしました。

サッカー日本チームワールドカップ初出場を祝して。

高橋一夫さん

本日は都合で早退させていただきます。

小越憲泰さん

早退します。

外山雅也さん

都合により早退させていただきます。

11月19日分 ¥ 11,000

今年度累計 ¥ 432,000



# 委員会報告

## 「社会奉仕委員会」

過日のカバナー公式訪問の折にご指導受けました寺子屋運動の件ですが、地区大会の時にもご挨拶の中でかなり強調されておられました。友の7月号にはRI会長のメッセージとしてこう言われています。飢餓と貧困との闘いを開始しましょう。これは、この世における様々な悪の根源です。しかし食糧と住居を提供するだけで貧困から脱却させる事は出来ません。自ら努力してその生活状態を向上させていく手段が必要なのです。文字が読めない、書けない、計算が出来ない人々は貧困から脱け出し人間らしく暮らす事など出来なんでしょう……云々です。日本における識字率、昔で言う文盲率はもうほとんど100%に近い状態ですが、東南アジアその他の国では50%を大きく下まわっている国が数多くあります。その様な国々に対して援助の手を差し延べようと寺子屋運動が実施されています。

地区大会でのお話しですとこの地区で1,000万程度集めたいと考えておられるそうですが、大会直前で220万、その中で新潟80万しか集まっておっしやられたように思ひます。私共ではまだ出しておりません。

1月に2度目の集計をされるそうなので、それまでに1人1,000円見当で未使用のテレカか書き損じはがきと言う事になっております。

いずれにしてもそれを金に替えるのでしょから、現金1,000円の方が無駄が無いように思いもするのですが、よくわかりません。まあ認識させるためなのでしょう。基本のご指示に従うと言う事で私共では未使用テレカ3枚程度のご協力をお願いしたいと思います。

## 卓 話

### 「建設工事と環境問題」

建設省長岡国道工事事務所

三条国道所長 和田日朗殿



「1カ国のみでの取り組みによって解決できない環境問題」を地域環境問題と定義づけしており、つぎの9項目に分類することができる。これらは、今現在も影響が出ているが、「将来の世代に大きな影響がでる」という性格を有している。

#### ①地球温暖化

・ツンドラ地帯の氷解→湿地帯の消滅→

針葉樹林の枯死→野生生物の絶滅→乾燥地帯化する。

・異常気象の発生や海面上昇の問題。

#### ②オゾン層の破壊

・紫外線が強くなり皮膚癌が増える。突然変異多発。

#### ③海洋の汚染

#### ④野生生物の種の減少(種の多様性)

・地球上に約150万種以上の生物が確認されている。その大半は熱帯地方にいる。150万種の内100万種が動物であり、動物の内70%が昆虫である。これら生物の種が減少してきている。

#### ⑤有害廃棄物の越境移動

・放射性含有物が越境して廃棄されている問題。

#### ⑥酸性雨

・中国等のエネルギーである石炭や木材の煙が季節風に乗って酸性雨を降らせると言われている。

#### ⑦砂漠化

#### ⑧熱帯林の減少

・生物の半分以上が熱帯の地にいる。  
・薬の材料となる細菌や微生物の3分の1位は熱帯の中から採取している。

#### ⑨開発途上国の公害問題

・この問題がこれからの大きな問題である。

以上の9項目の根源は「人口問題」「エネルギー問題」である。そのためには、大量消費、大量生産からの「ライフスタイルの変換」をしていかなければなりません。

先日、10月6日の新潟日報に掲載のとおり、オゾン破壊は北極、南極の問題でなく、北海道にまで影響が出てきています。

次に二酸化炭素濃度の年代推移表をご覧くださいと思いますが、急カーブで増してきていることがわかります。

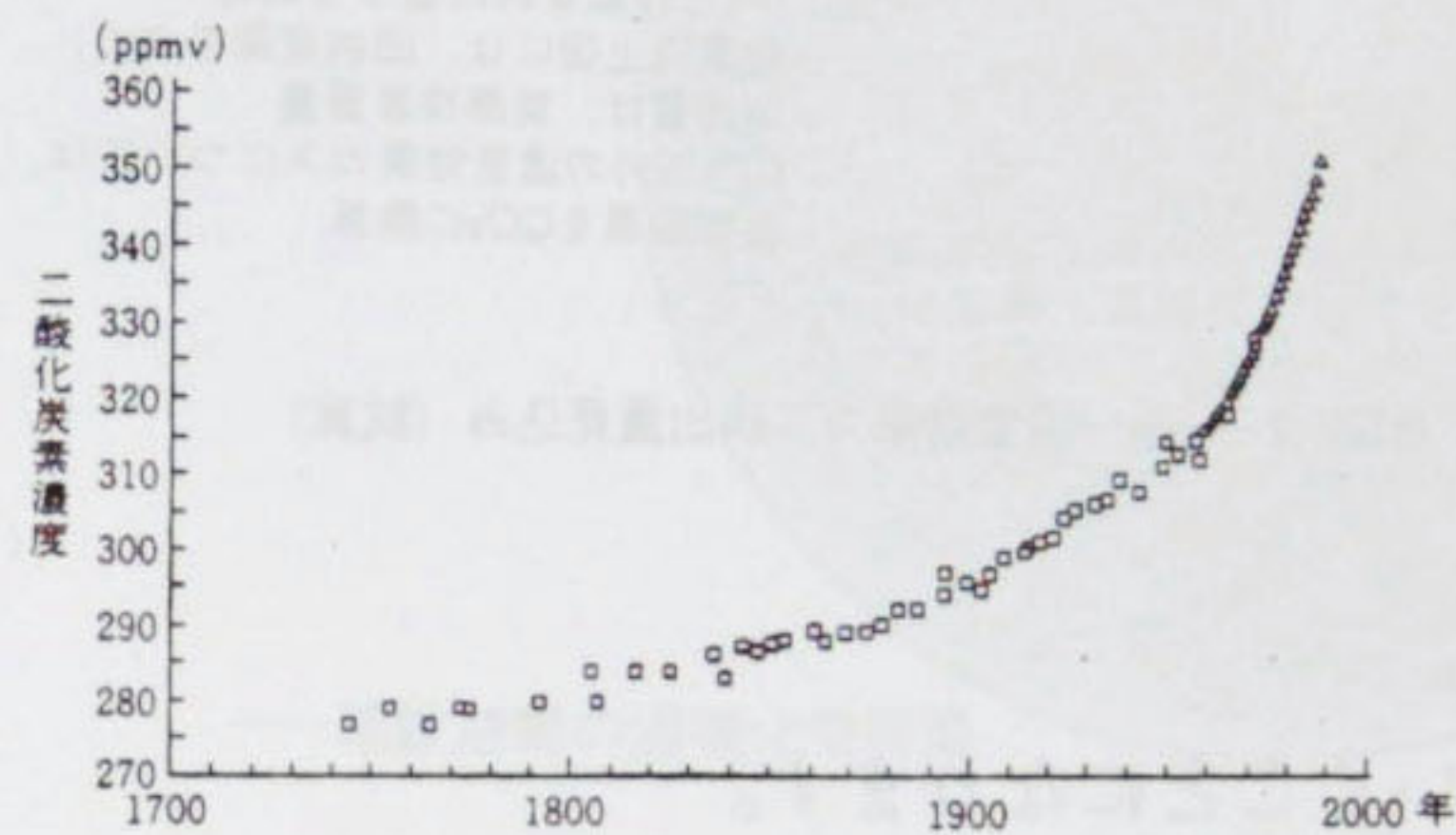


図6 南極の水床コアから推計された二酸化炭素濃度  
Nefel et al. (1985) 他: Houghton et al. (1990) p. 9, 収録.

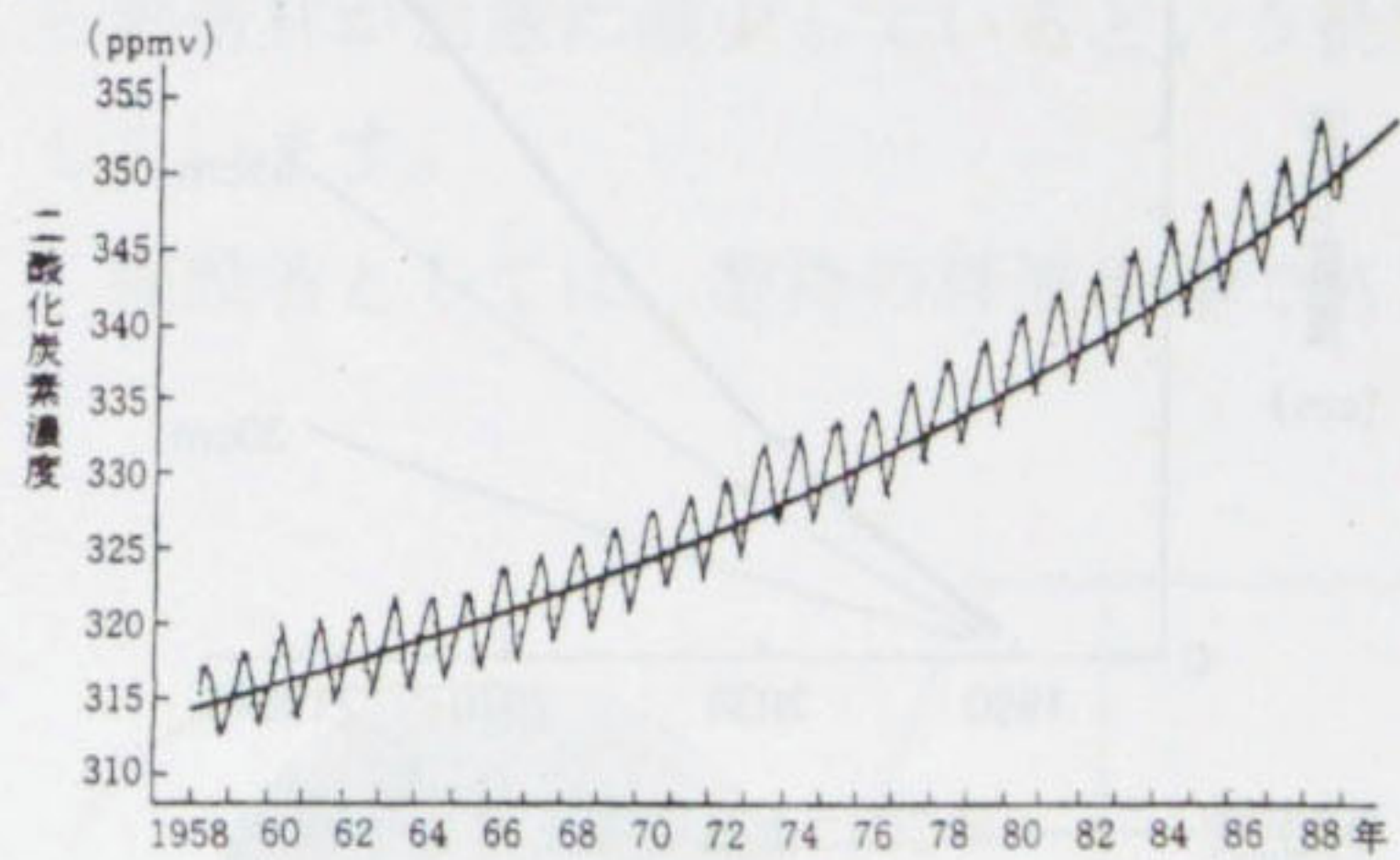
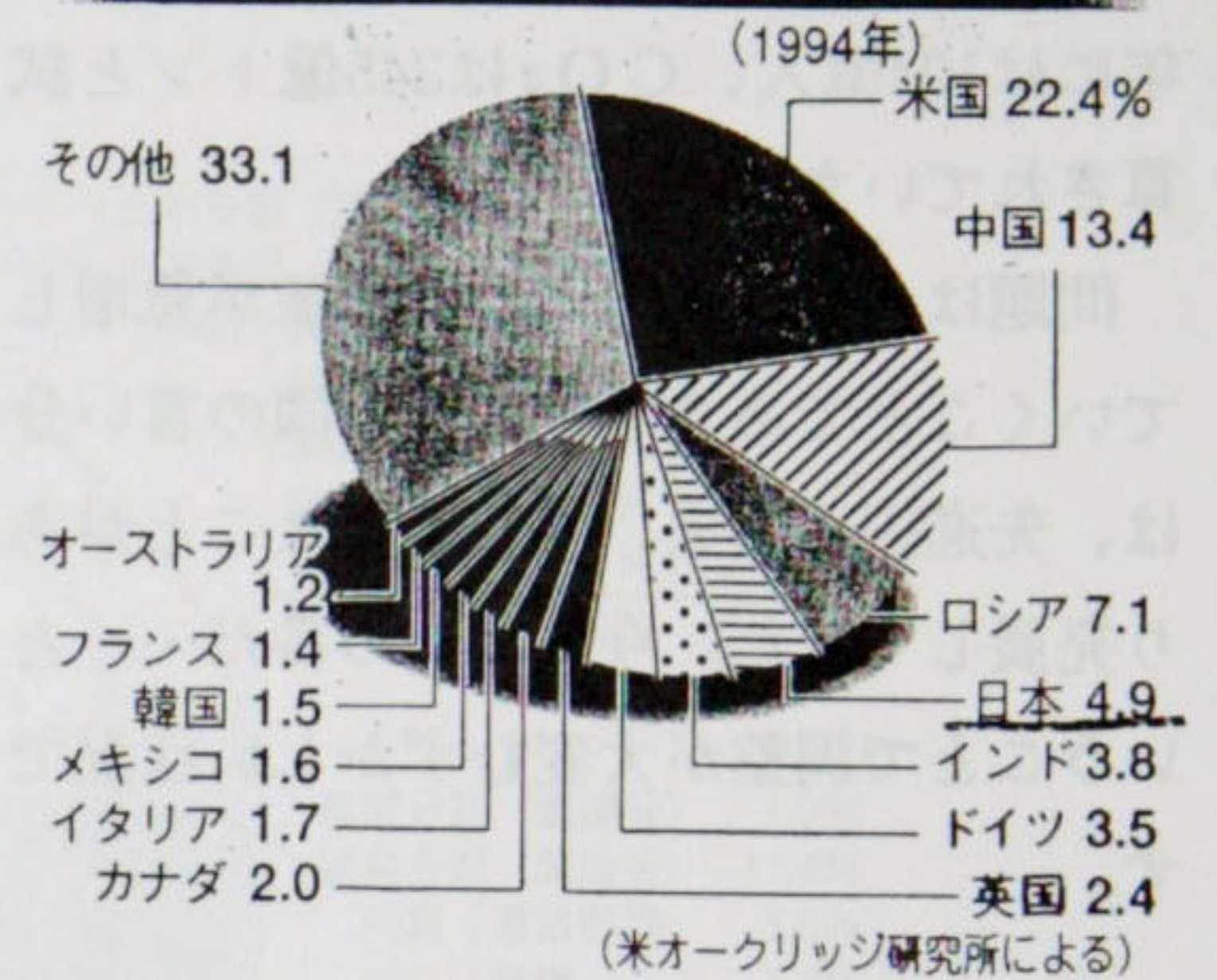


図5 マウナ・ロア観測所での大気中の二酸化炭素濃度  
Keeling (1989): Houghton et al. (1990) p. 9, 収録.

国別で見ますと、次の表のとおりです。

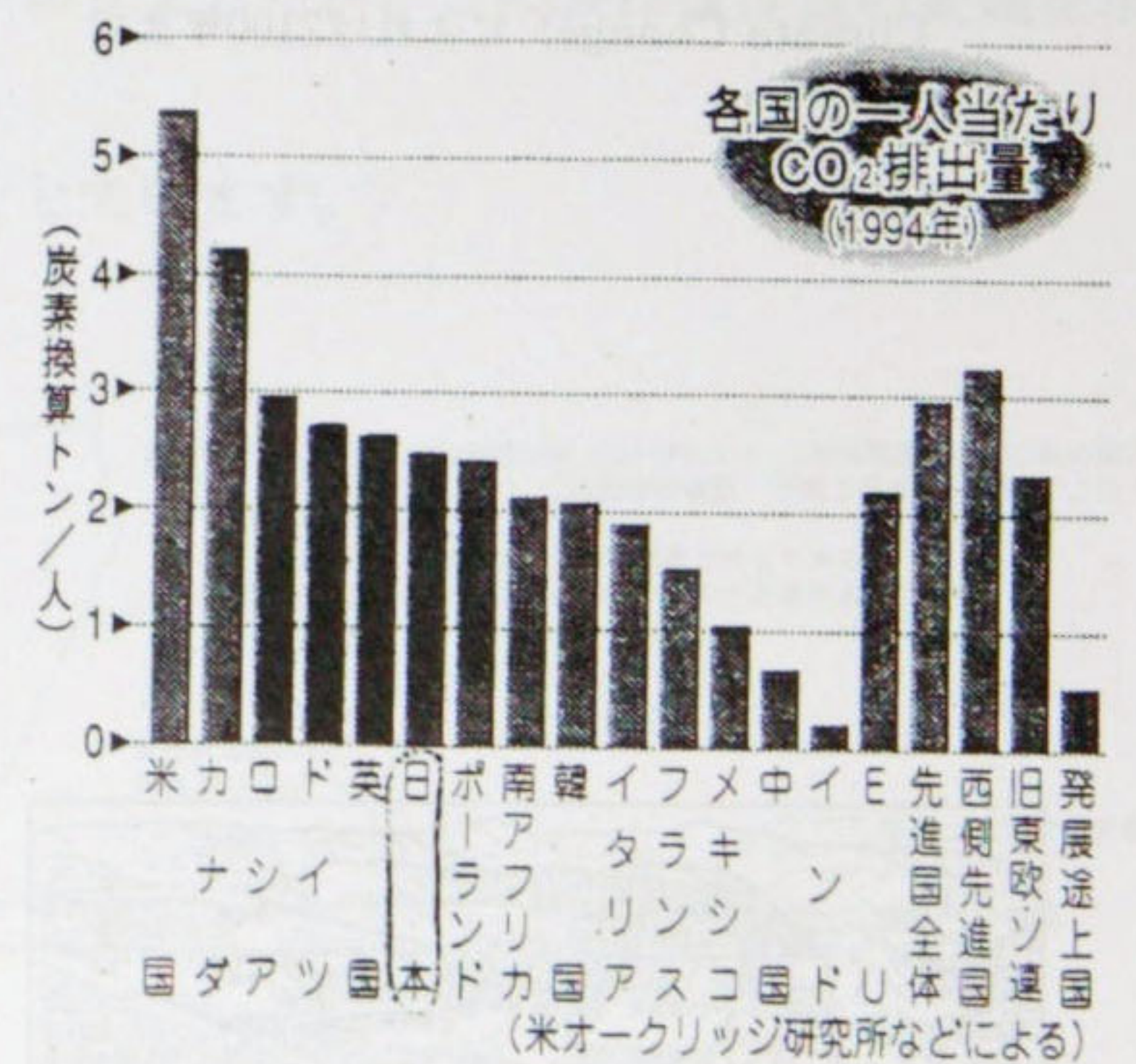
日本は4.9%、米国は22.4%で日本の排出割合は少ないように思われますが、世界人口約55億人を頭割りしてみますと日本は2%台になり、多いことがわかります。

### 国別の二酸化炭素排出割合



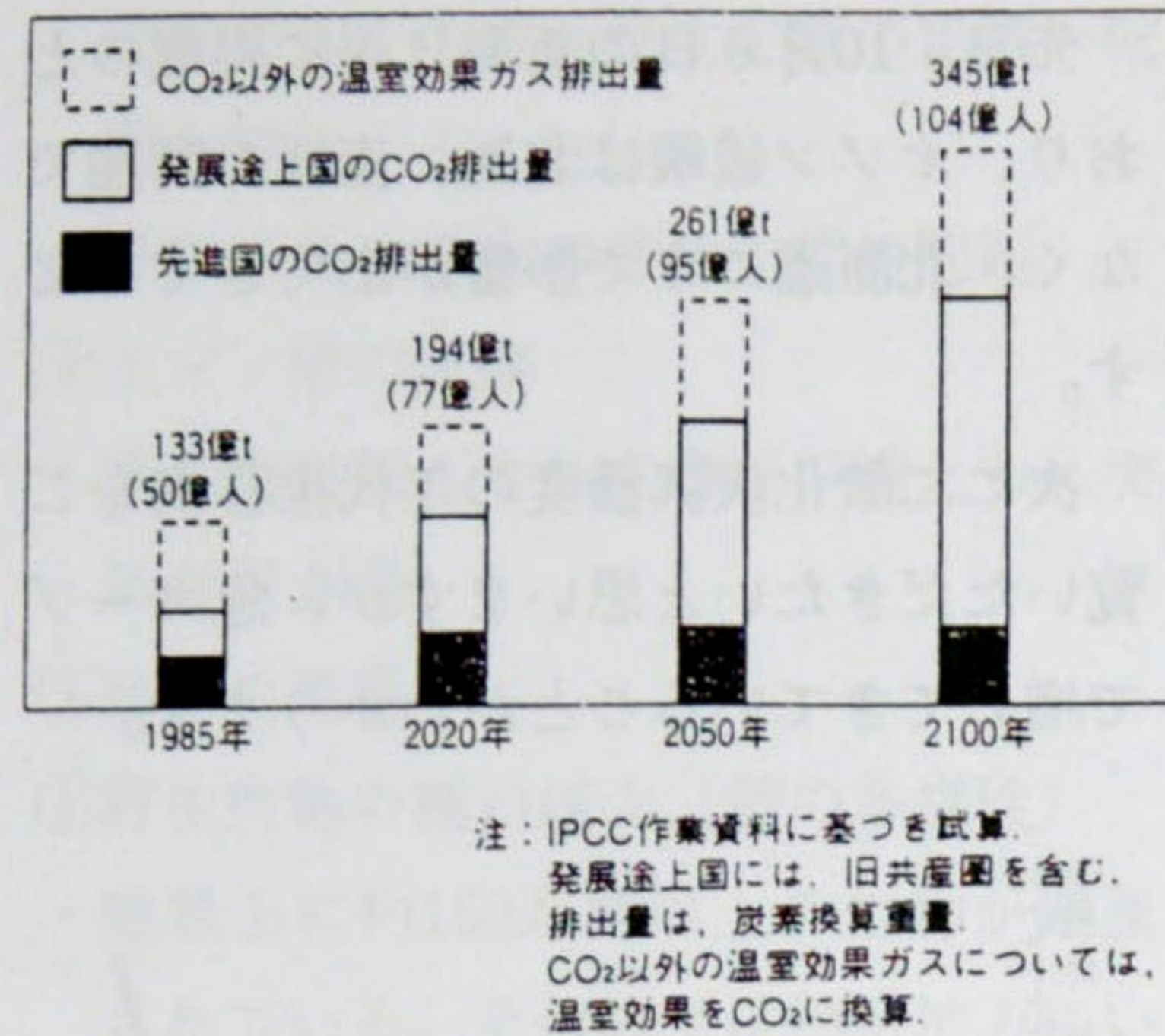
次のグラフは各国の一人当たりCO<sub>2</sub>の排出量です。

日本は約2.5トンです。この内、700kg位が車から出ており、車の排出量は30%を占め、相当多いこととなります。



この表を見ると、世界の人口は2,100年には104億人、CO<sub>2</sub>は345億トンと試算されています。

問題は、発展途上国の排出量が急増していくことでもあります。途上国の言い分は、先進国も過去、同じようなことがあり発展してきた。今は我々の番だ……ということで調整が大変むずかしい状況です。

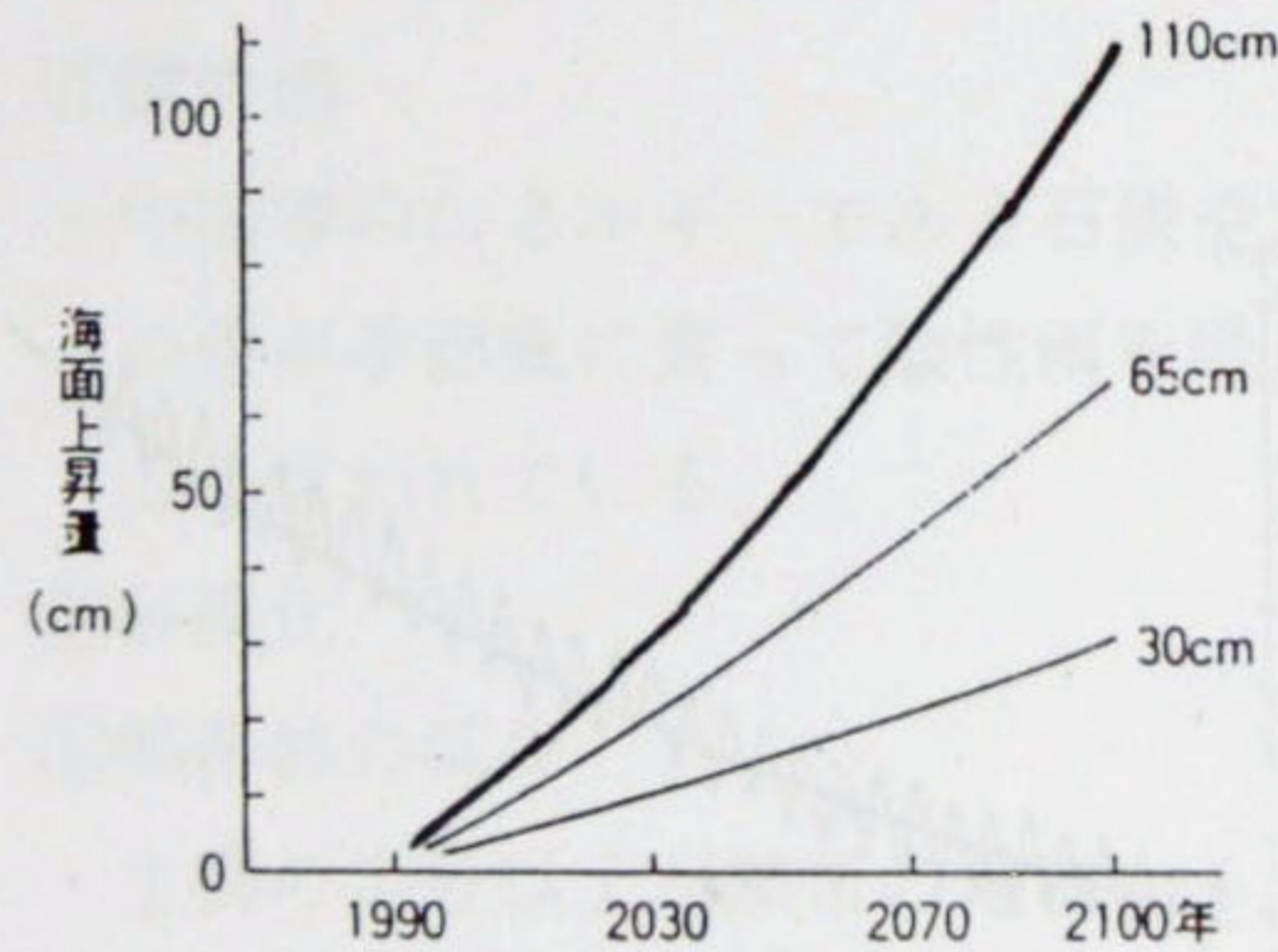


●図-2——温室効果ガス排出量見込み(試算)

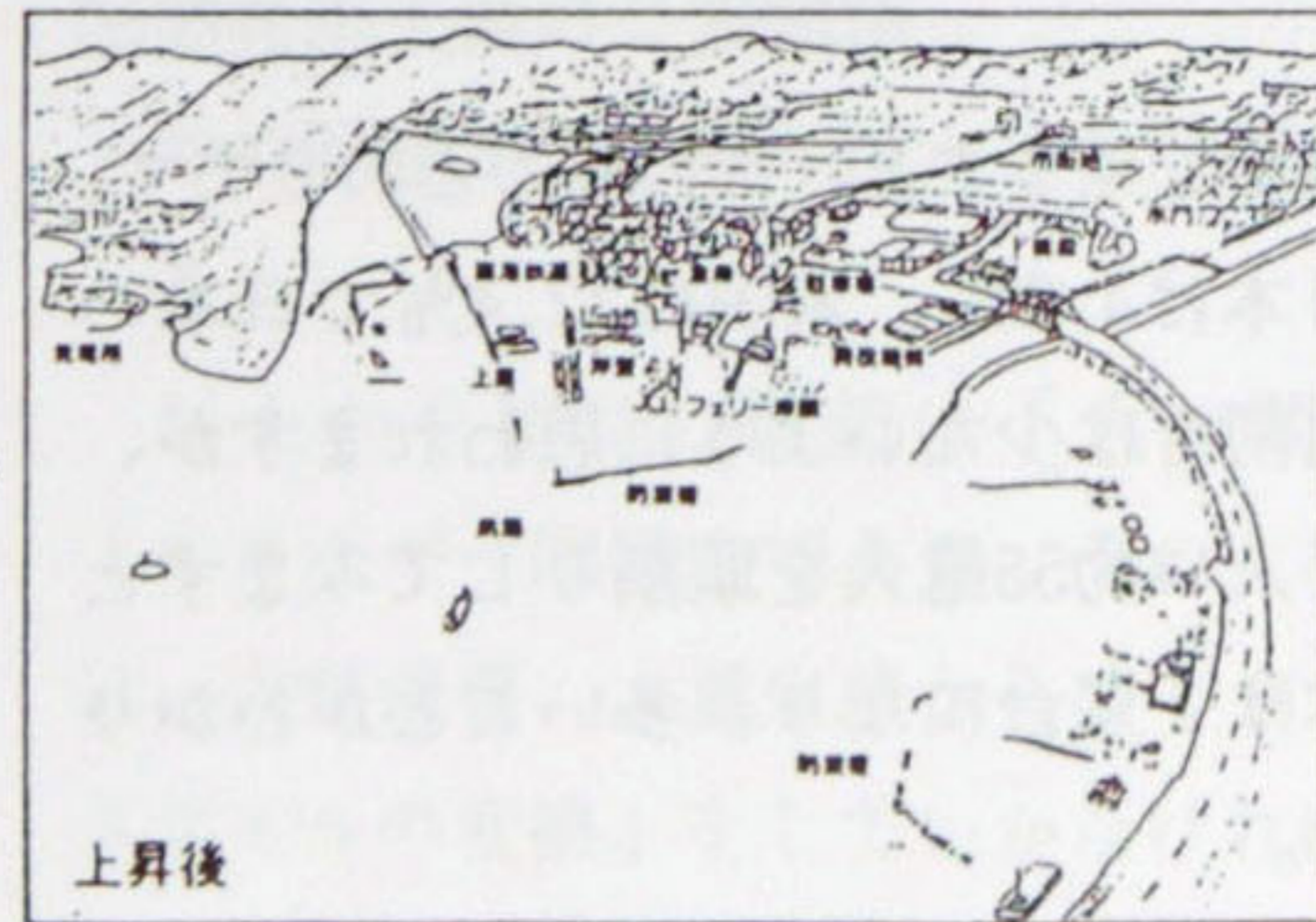
この表は海面上昇の予測を表したものです。

海面が上昇すれば、海岸線一帯が水没していくことになります。

「気候変動に関する政府間パネル」(IPCC: Intergovernmental Panel on Climate Change)によれば2100年まで

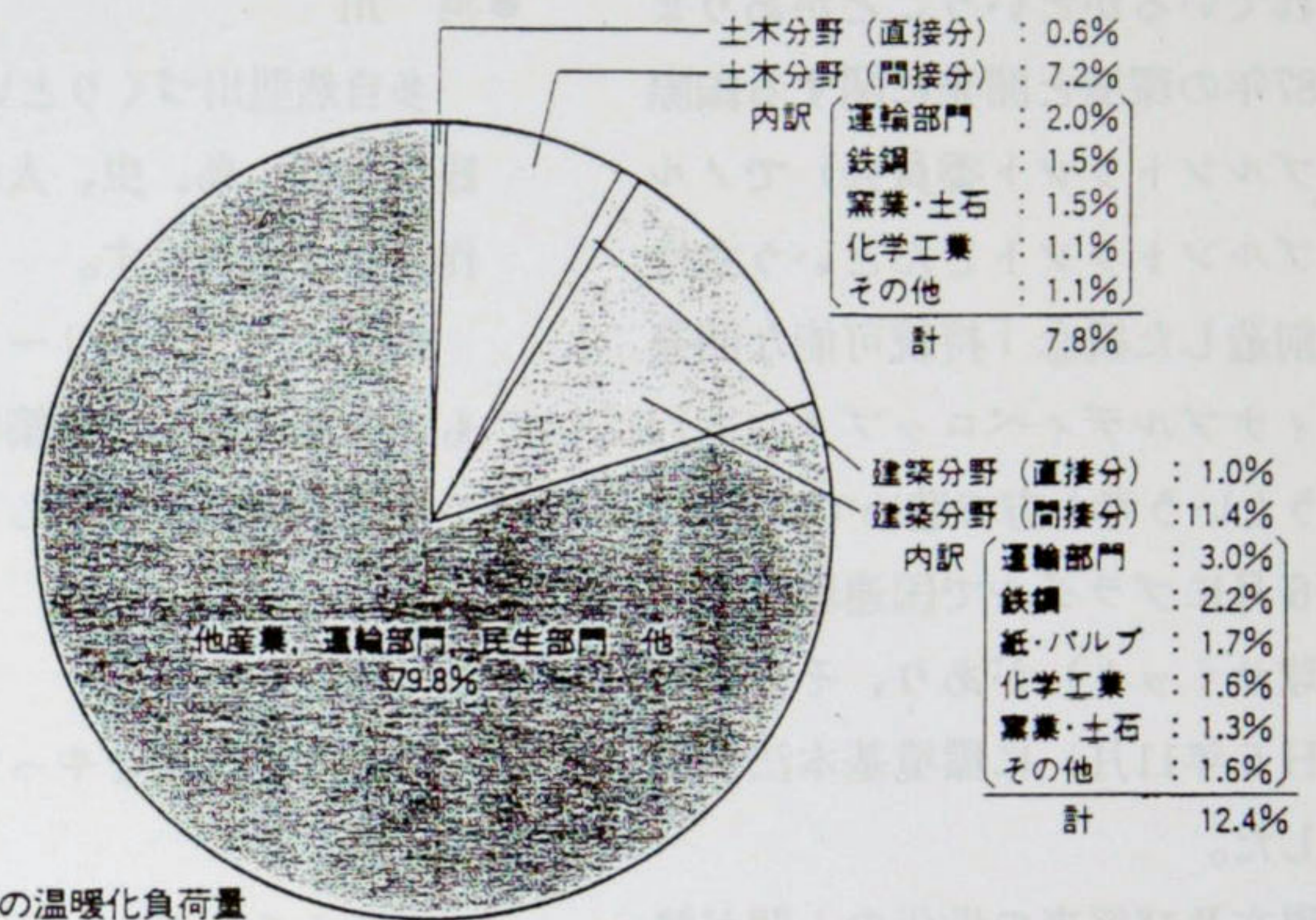


●図-1——IPCCによる海面上昇の予測



●図-2——海面上昇による影響イメージ

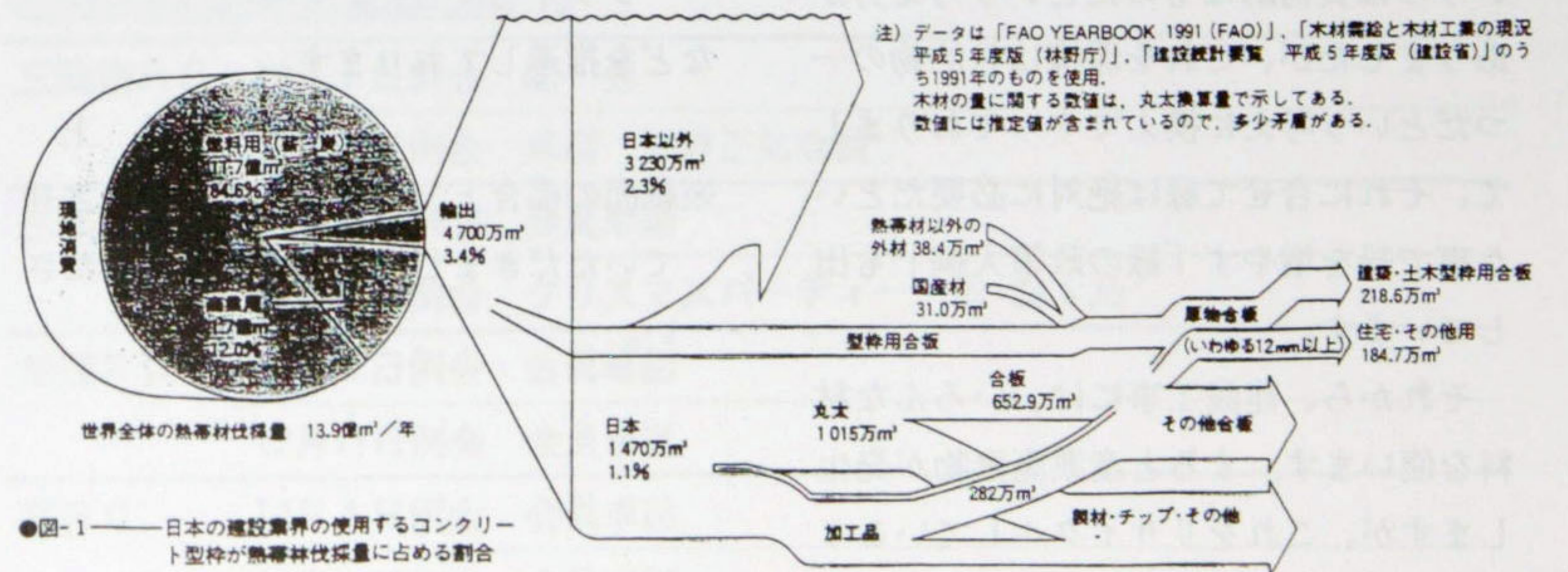
それでは、角度を変えて温暖化に与える影響を日本の建設産業としては、どれだけ出しているのだろうかという表です。



——建設産業の温暖化負荷量

ひところ、日本は熱帯林を大量に輸入してコンクリート型枠等に使用している。だから熱帯林が急激に減少しているという批判がありました。この表は伐採量の用途を示しています。

建設省としては、型枠の再使用等で努力をしています。



●図-1——日本の建設業界の使用するコンクリート型枠が熱帯材伐採量に占める割合

いろいろと話をしてまいりましたが、さて日本がセンセーショナルにどんなことをやられているかということがありますが、1987年の環境と開発に関する国際委員会（ブルントラント委員会）でノルウェーのブルントラントさんという女性の首相が創造した概念「持続可能な開発（サスティナブルディベロップメント）」を目指そうという考え方で進めています。

1992年6月にブラジルで国連環境開発会議（地球サミット）があり、その翌年1993年（H5年11月）に環境基本法が制定されました。

第3条 現在及び将来の世代の人間が健全で恵み豊かな環境の恵沢を享受…

第4条 環境への負荷が少ない持続的発展が可能な社会の構築

この法を受けて建設省はどんなことをやってきたかと言いますと、「環境政策大綱」を出して“対立から両立へ”と政策転換を図っています。今までは環境というのは負荷的なものだという考え方がありましたが、これを環境は目的物の一つだという考えに換えてやっておりまして、それに合せて緑は絶対に必要だという事で緑を増やす「緑の政策大綱」も出しています。

それから、建設工事には、いろんな材料を使います。すると産業廃棄物が発生しますが、これをリサイクルしていかうとしています。

キーワードとして“循環”、“共生”で動き始めています。

それでは、建設省の環境に関する具体的な施策がありますが、

●河川

多自然型川づくりということで、魚、底生生物、鳥、虫、人……何に優しく作るかであります。

例えば、コンクリート固めしていたものを魚に優しい構築物にする。又、やすらぎ堤は人に優しくというものです。

●港湾

海面上昇対策をやっています。

●道路

・マルチモーダル……あらゆる交通機関を有機的に使用することを推進する。

・交通需要マネジメント（T. P. M）……発生してくる交通量をコントロールして交通量を減らす施策。

・渋滞対策、エコロード。

・都市ではエコシティ、サスティナブリティ

などを推進しております。

以上

※紙面の都合上、要旨のみの掲載とさせていただきます。

## 例会案内

三条RC	12月3日例会	卓話	峯村征夫会員
	12月10日例会	卓話	

### メイクアップをどうぞ

三条南RC	12月1日例会	総会	
	12月8日例会	卓話	知野正弘会員

三条北RC	12月9日例会	会員卓話	
	12月16日例会	クリスマスパーティー	於 おゝ乃

加茂RC	12月4日例会	会員卓話	
	12月11日例会	会員卓話	

燕RC	12月4日例会	会員卓話	
	12月11日例会	会員卓話	

見附RC	12月4日例会	会員卓話	
	12月11日例会	会員卓話	

いかなる場合においても、  
 本会が主催する各種事業の  
 実施に当たっては、必要と  
 認められる範囲内で、本会  
 の財産を充てるものとす  
 る。本会の事業に必要と  
 認められる範囲内では、  
 本会の財産を充てるもの  
 とする。本会の事業に必  
 要と認められる範囲内  
 では、本会の財産を充  
 てるものとする。

1982年5月にアムステルダムに  
 本会（現本会）が設立され、  
 1983年（昭和58年）11月に  
 本会が設立された。本会  
 は、現在及び将来の世代に  
 対して、本会が持つべき  
 財産を、本会が持つべき  
 財産として管理し、その  
 利益を本会の事業に充  
 てるものとする。

附則 第 1 条

委員会	12月3日開会	〇月〇日
常務委員会	12月10日開会	〇月〇日
常務委員会	12月17日開会	〇月〇日
常務委員会	12月24日開会	〇月〇日
常務委員会	12月31日開会	〇月〇日
常務委員会	12月7日開会	〇月〇日
常務委員会	12月14日開会	〇月〇日
常務委員会	12月21日開会	〇月〇日
常務委員会	12月28日開会	〇月〇日
常務委員会	12月4日開会	〇月〇日
常務委員会	12月11日開会	〇月〇日
常務委員会	12月18日開会	〇月〇日
常務委員会	12月25日開会	〇月〇日
常務委員会	12月1日開会	〇月〇日
常務委員会	12月8日開会	〇月〇日
常務委員会	12月15日開会	〇月〇日
常務委員会	12月22日開会	〇月〇日
常務委員会	12月29日開会	〇月〇日
常務委員会	12月5日開会	〇月〇日
常務委員会	12月12日開会	〇月〇日
常務委員会	12月19日開会	〇月〇日
常務委員会	12月26日開会	〇月〇日